

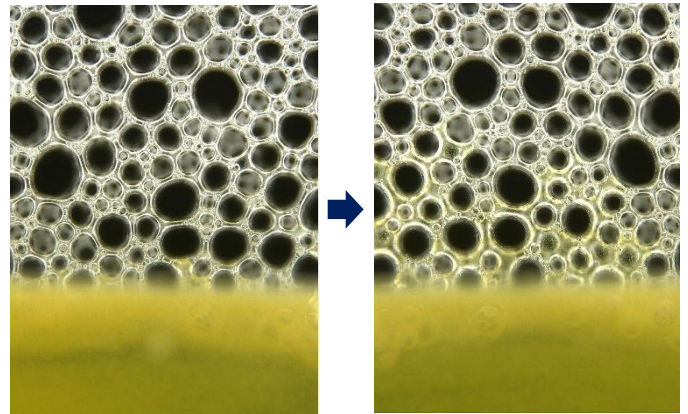
News Release

1980 年から続くダブルクレンジングフォームの当社最新研究 メイク・皮脂汚れを落とすのに保湿する洗顔料開発に成功 不要な汚れを除去しながら、保湿成分を肌に吸着させる新技術

株式会社ナリス化粧品（代表者：村岡弘義 本社：大阪市福島区）は、洗浄料に求められながらも相反する「メイクや皮脂の汚れ落ち」と「肌に残る保湿感」を両立するメイクも落とせる洗顔料の処方開発に成功しました。この処方は、泡立ちや泡質がよく洗い流し性も高いため、肌に対する刺激が少ないものです。

■研究の背景

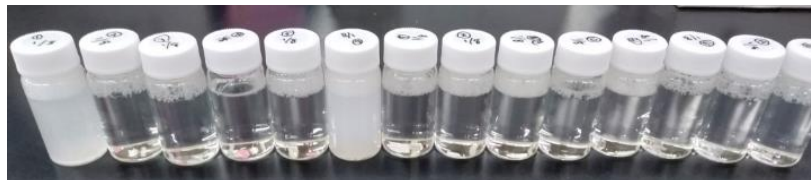
当社では、1970 年代に女性の社会進出を背景として多機能化粧品の開発に着手し、これまで進化を続けています。なかでもメイク落としと洗顔料の両方の機能を併せ持つ「ダブルクレンジング」と呼ばれるフォーム状の洗顔料は 1980 年に初めて発売後、メイクの持続力の向上に合わせて半世紀近く、いたちごっこのような開発をしてきました。洗浄力をあげることは肌に必要な潤いまで洗い流してしまうことになり、乾燥に繋がるため、単なる洗顔料よりも難易度の高い処方開発分野と言えます。



泡立てた研究品が消泡することなくメイク汚れを自発的に吸い上げている様子

■研究内容

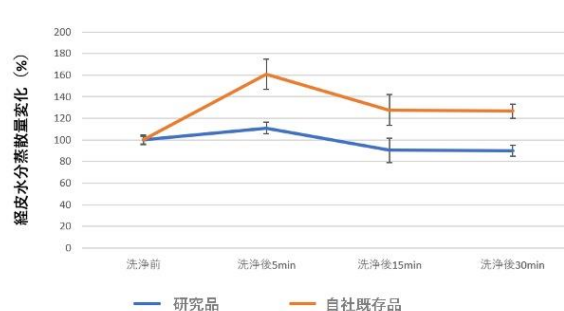
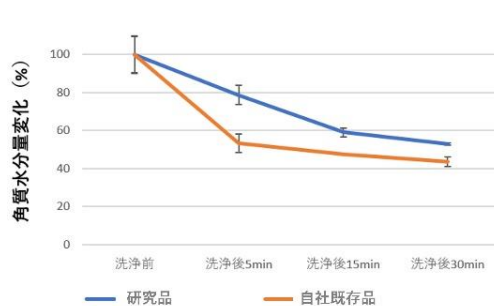
今回の研究では「コアセルベート」と呼ばれる、これまでシャンプーなどの処方に用いられてきた技術を洗顔料に応用しています。これは、保湿成分である高分子と洗浄成分である活性剤が絡み合った複合体（＝コアセルベート）で、洗浄料が水で希釈される際に生成されます。



検討した高分子

の生成量を増大させる成分をスクリーニングした結果、クレンジング力を向上させる成分にコアセルベート生成促進効果を見出しました。この組み合わせの発見により、本来トレードオフの関係であるクレンジング力と保湿感の両方を大幅に向上させることに成功しました。

新処方について、使用前と使用後 30 分までの角質水分量の変化と経皮水分蒸散量の変化を確認しました。ともに当社の



これまでのダブルクレンジングフォームの処方と比較して、改善されており、洗浄後の保湿感が保たれた処方であることがわかりました。

■今後の研究

タイプが求められる昨今、多機能の化粧品は増えていますが、多機能にすることでそれぞれの機能が劣るという意識を持つ人も多く存在するように思います。当社では約 50 年に及ぶ多機能コスメの研究のなかで、よりそれぞれの機能の充実化を目指し、忙しい人を応援できるような化粧品の開発に努めます。

【本件に関するお問い合わせ】 株式会社 ナリス化粧品 経営企画室 広報 横谷(よこたに)
〒553-0001 大阪市福島区海老江 1 丁目 11 番 17 号 TEL:06-6346-6672
FAX:06-6346-6569 E-mail:narispr@naris.co.jp HP:www.naris.co.jp